



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

病院長就任のご挨拶

昭和大学歯科病院 病院長 馬場 一美

平成31年4月1日より、昭和大学歯科病院 病院長に就任いたしました馬場一美です。

着任日にちょうど新元号が決まり、5月1日から新たに「令和」の時代を迎えることになりました。出典は万葉集だそうで、さまざまな意味が込められた元号ですが、安倍首相の談話によると「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められている」とされています。当院の開院は昭和52年にさかのぼりますが、昭和、平成を経てこの令和の時代を地域の皆さまとともに歩んで参ります。

現在、我が国は超高齢社会に突入し、さまざまな社会構造の変化の真っ只中にあります。医療も例外ではなく、医療費高騰等の問題がよく取り上げられますが、医療の目的についても、平均寿命のみでなく、健康寿命の延伸に焦点が置かれるようになりました。つまり、長くなった人生を健康で充実したものにしてほしいという意識が高まり、延命のみならず生命の質の尊重に重点が置かれるようになりました。こういった変化の中で、口腔健康状態を良好に維持することが昨今の社会的な問題であるフレイル、認知症等の予防に有用であることがエビデンスとして示され、歯科医療の役割は益々大きくなって参ります。一方で、社会の高齢化に伴い、高血圧などの循環器系疾患や糖尿病等、さまざまな全身的な疾患を抱えた方の歯科治療の需要が増え、さらには小児から高齢者までそれぞれの年齢層においても、歯科治療に対するニーズは多様化しています。

当院には、こうしたニーズに応え、先進的な医療を高いレベルで提供するため、高度な専門性

を持つ17の診療科とそれらを横断的に支援する6つの中央診療部門があり、大学病院の特色として最先端医療技術に関連した臨床研究を統括する部門も設置されています。当院が提供する高度かつ最先端医療技術については、ホームページの各診療科案内にてご確認頂ければ幸いです。さらに、地域の歯科医院から安心して患者さんを紹介していただき、また紹介された患者さんにも安心して受診し、満足して頂けるような地域連携体制を整え、2017年12月から土曜日の診療も週日化し、2018年度実績で年間221,217人の外来患者と4,723人の入院患者を受け入れております。

昭和大学は「真心をもって何事にも立ち向かう、そして、その誠意を貫き通す」という意味の「至誠一貫」を建学の精神としております。歯科病院の理念もこの精神を基盤として、患者さんの病気の治療だけでなく、不安や悩みを取り除くために、真心のこもった医療を目指しております。

ご意見、ご要望等がございましたらご意見箱(1階から5階に設置)を用意しておりますので、お気軽にお申し付け下さい。



臨床病理診断科は、歯学部口腔病理学部門教授の美島健二を科長とし、口腔病理学部門と兼任で業務を行っています。その業務の内訳は、病理組織診断・細胞診断・術中迅速診断および病理解剖から成ります。

細胞診断:

各診療科で患者さんのお口にてきた病変の表面からこすり取った細胞や、深部に位置する病変より注射針で採取した細胞を、プレパラートと呼ばれるガラス板に塗布します。当科では塗布された細胞の形態を顕微鏡により観察し、病変の良・悪の判定を行います。細胞診断では診断に必要な検体量が少ないため容易に採取が可能ですが、診断の確実性は次に述べる病理組織診断に比べると劣ります。

病理組織診断:

各診療科で患者さんのお口にてきた病変の一部もしくは全部を採取させて頂きます(採取されたものを「生検材料」といいます)。当科にて生検材料を顕微鏡にて詳細に観察し、得られた顕微鏡像から、その病変がどのような病変なのか(良性/悪性、手術の必要性があるかどうか、等)を決定する「確定診断」を行います。手術による摘出が必要だと判断された場合は、摘出された組織(「手術材料」といいます)を更に細かく分割し、病変の進み具合や悪性度の再評価等の診断を行います。

術中迅速診断:

手術中に組織の一部を採取し、病変の診断や手術範囲の決定あるいは病変の取り残しがないか等の判断を顕微鏡像から判断することで、外科手術の精度向上に役立っています。

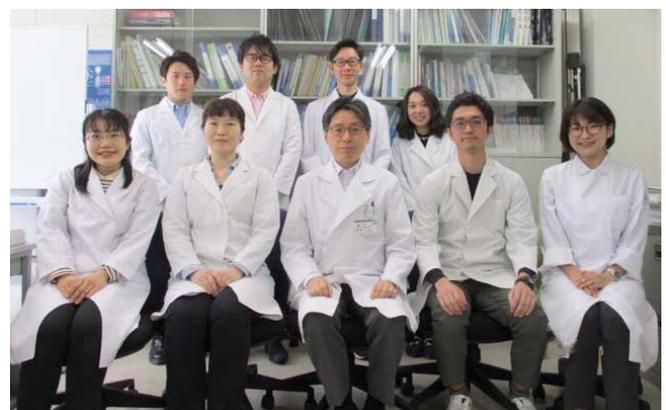
私どもは基本的に患者さんと直接お目にかかる機会はありません。しかし、各診療科で採取された

病変を通じて、患者さんと向き合っています。病理診断の結果は、治療方針の選択や予後(医学的な経過の見通し)の予測など、患者さんのQuality of life(QOL)に直結しています。当院が質の高い医療を提供できるよう各診療科と緊密な連携をとり、細心の注意を払い診断を行っています。

当院の業務に加え、昭和大学医学部臨床病理診断科と連携し、口腔癌等の診断に従事しています。また、地域の歯科医院の先生方からご依頼頂いた病理組織診断にも積極的に対応し、周辺地域の方々のお役に立てるよう努めております。

近年、さまざまな疾患において、遺伝子や遺伝子が作り出すタンパク質に異常が認められることが報告されています。そして、これらの情報に基づいた新しい診断方法・治療法の開発が試みられています。当科においても、昭和大学の特徴である学部を越えた連携を活かし、遺伝子やタンパク質の解析などの先端的技術を積極的に取り入れることにより、精度の高い診断法の確率や予後の予測に取り組んでおります。

現在、病理診断に従事しているスタッフのうち口腔病理専門医は4名(美島、安原、田中、行森)であり、同一病変のダブルないしトリプルチェックを行い、診断精度の維持・向上に努めております。



臨床病理診断科スタッフ

診療部門紹介: 歯科ドック

歯科ドック センター長 真鍋 厚史
担当歯科衛生士 佐藤 祥子

お口の臭い気になりませんか？

朝起きた時、疲れた時など口臭がきつくなることがあります。また、むし歯や歯周病が進行するとさらに口臭が強くなります。最近では、お口のケアや口臭予防に関するグッズが販売され、マスコミやテレビでも取り上げられる機会が多くなっています。

歯科ドックでは、下記の健診項目にあるように口臭検査も行っています。ご自身のお口の状態を知って、お口のケアの方法を見直してみませんか？

歯科ドックは、以下の方々にお勧めです。

- ・ご自身のお口が健康であると思っている方
- ・治療が終了してお口の健康な状態を維持されたい方
- ・口臭が気になる方

当院では2002年9月から「歯科ドック」を開設しており、4階美容歯科の個室診療室に併設しております。さまざまな健診項目を各種専門の歯科医師および歯科衛生士が担当しています。

基本的にお口の健康状態を診ることを目的としており、応急処置を含めて治療は行いません。治療が必要な場合は、専門の診療科へご紹介いたします。

詳しくは、歯科医師、歯科衛生士へお尋ねいただければご案内いたします。

口臭

口臭の主な原因となる揮発性硫黄化合物(VSC)を口臭測定器で、次の3つのガスに分離し濃度を測定します。

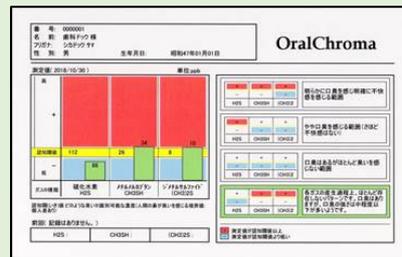
- ・硫化水素（卵が腐ったようなにおい）：舌の汚れ、お口の汚れ
- ・メチルメルカプタン（生臭い野菜の腐ったにおい）：歯周病、むし歯
- ・ジメチルサルファイド（生ゴミのようなにおい）：消化器系の内臓の臭いや服用薬



お口の中のガスを採取しているところ



口臭測定器
オーラルクロマ CHM-2(エアアイエス)



口臭測定判定結果

歯科ドックの流れ

・お申し込み

4階 歯科ドック受付、1階 総合受付に申込書がございます。申込用紙に必要事項をご記入の上、受付にお出しになるか郵送してください。

健診は、予約制で行っています。

健診日は、**月・火曜日の午前中**となっております。

・健康診断 当日

健診には約2時間程度かかります。

・健康診断 結果報告

後日(約2週間後)に来院していただき、歯科医師から健診結果のご説明およびご相談にのらせていただきます。

健診項目(基本メニュー)

1. むし歯(う蝕の有無と進行程度、かかりやすさ)
2. 唾液(唾液量、pH、細菌数)
3. 潜血反応(歯周病や粘膜からの出血の有無の判定)
4. 歯周病(歯周病の有無)
5. **口臭(う蝕や歯周病、清掃状態にも関係)**
6. 舌・口腔粘膜(粘膜の状態)
7. 噛み合わせ状態・噛む力(左右の均等性の判定も含む)
8. 開口量測定
9. パノラマエックス線検査
10. 口腔内写真撮影
11. お口の汚れ程度
(汚れの評価、清掃用具の選択、お口のお手入れ法)

料金:基本メニューは、20,000円(税抜)です。

新入職員ご挨拶

お世話になる全ての方への感謝の気持ちを忘れず、自らが描く歯科医師の姿に近づくため日々精進してまいります。

臨床研修歯科医師 手嶋 留里

研修の位置づけを意識し、知識や技術のみでなくコミュニケーション能力なども身につけ、歯科医師の社会的役割を認識できるよう努めてまいります。

臨床研修歯科医師 河合 良太

研修を通して、将来の基盤となる知識や技術を習得し、歯科医師としての人格を養えるよう日々努力を重ねていきたいと思っております。

臨床研修歯科医師 堤 翔太郎

歯科医師としての自覚をもち、働くことへの感謝の気持ちを忘れずに誠心誠意患者さんと向き合いたいと思っております。

臨床研修歯科医師 佐藤 晶子

患者さんから信頼される歯科衛生士になれるよう、常に向上心を持ち、精進していきます。

歯科衛生士 加藤 友唯

1日でも早く一人前の歯科衛生士として皆さまに貢献していけるよう、努力して参ります。宜しくお願い致します。

歯科衛生士 高澤 友里

患者さんに信頼していただける歯科衛生士になれるよう、日々努力して参ります。宜しくお願い致します。

歯科衛生士 中山 悠

歯科技工所で会社員として働いてきた技術や知識、また経験を、患者さんの近くで発揮していけたらと思っております。

歯科技工士 馬場 大輔

患者さんに寄り添った補綴物の製作を目指し、1日も早く戦力になれるよう日々精進してまいります。

歯科技工士 古舘 美弥



臨床研修歯科医師 オリエンテーションの様子



編集後記

昭和大学歯科病院のある大田区には、銭湯が数多くあります。近隣の区を含め10以上の銭湯を訪ねましたが、どの銭湯も身体がとても温まり、肩や腰、足の疲れが飛んでいくようです。そして、「お先です〜」「おやすみなさい」と地元の方々の会話のキャッチボールを耳にすることで、心もふわりと軽くなります。新年度となりお忙しくお過ごしの方もいらっしやると思っています。お体どうぞご自愛下さい。(K.J)

